

## 時刻同期 1KHz ロガー



### 高精度 A/D

差動 4 チャンネル、分解能 24bit $\Delta\Sigma$ を搭載、出力は 16bit~22bit から 1bit 単位で設定可能です。

### GPS による時刻同期

GPS による時刻校正を、精度 $\pm 200$ nsecで行っています。位置モードは、位置推定モードの他に位置固定モードが選択できますので、GPS の捕捉状態が悪い場合でも動作が可能です。

### データ形式

WIN 形式<sup>\*1</sup>に準拠したフォーマットです。

### 4 チャンネル独立設定

使用の有無、チャンネル番号、分解能、ゲインの設定が可能です。ゲインは、標準タイプが $\pm 2.5$ V または $\pm 1$ V、HV タイプは $\pm 10$ V または $\pm 2.5$ V から選択します。

### ロガー機能

測定中でも SD カードの交換が可能です。1 分以内に操作完了することでデータの欠けなく連続記録が可能です。

<sup>\*1</sup>:WIN は、東京大学地震研究所で開発された、多チャンネル地震波形処理システムのデータ形式です。

## 主な仕様

	SC-ADL1000	SC-ADL1000-HV
入力レンジ	差動入力 -2.5V~+2.5V 又は -1V~+1V	差動入力 -10V~+10V 又は -2.5V~+2.5V
チャンネル数	差動 4 チャンネル	
サンプリング	1KHz 同時サンプリング	
分解能	24bit $\Delta\Sigma$ (出力は 16bit~22bit で選択)	
ダイナミックレンジ	117dB typ. ( $\pm 2.5V$ レンジ、22bit)	
時刻校正	内蔵 GPS モジュールによる時刻校正、精度 $\pm 200$ nsec	
ロガー機能	連続記録 (WIN 形式)	
各種設定	シリアルポートから設定可能	
記録メディア	SD カード	
GPS コネクタ	SMA 型ジャック	
センサコネクタ	Dsub/プラグ 15pin	
シリアルインタフェース	Dsub/ソケット 9pin、RS-232C、通信速度:57600bps	
電源	DC 10~16V	
消費電力	1 チャンネル : 0.84W typ. (HV タイプ TBD.) 2 チャンネル : 0.96W typ. (HV タイプ TBD.) 3 チャンネル : 1.08W typ. (HV タイプ TBD.) 4 チャンネル : 1.2W typ. (HV タイプ TBD.)	
動作温度	-10~+40°C (結露無きこと)	
外形寸法	幅 149mm、高さ 54mm、奥行き 170mm (突起物を除く)	

## 付属品

外部 GPS アンテナ	BAT037	電源 3V、SMA(M)コネクタ端子、ケーブル長 5m
センサー入力ケーブル	CAB011	Dsub/ソケット 15pin、Y 型圧着端子(M3)、シールドケーブル 0.5m
SD カード		SDHC 32GB
AC アダプタ	P12008	出力電圧 12V 1A、入力電圧範囲 90~264VAC、丸型圧着端子、1.5m
取扱説明書		保証書含む

## オプション

外部 GPS アンテナ(3V)	BAT037	電源 3V、SMA(M)コネクタ端子、ケーブル長 5m
-----------------	--------	-----------------------------

## 価格

型番	SC-ADL1000	SC-ADL1000-HV
時刻同期 1KHz ロガー	税込 ¥660,000.	税込 ¥660,000.

※ このカタログに記載された仕様・デザイン・価格は予告なしに変更することがあります。

※ このカタログの記載内容は 2023 年 1 月 2 日現在のものです。